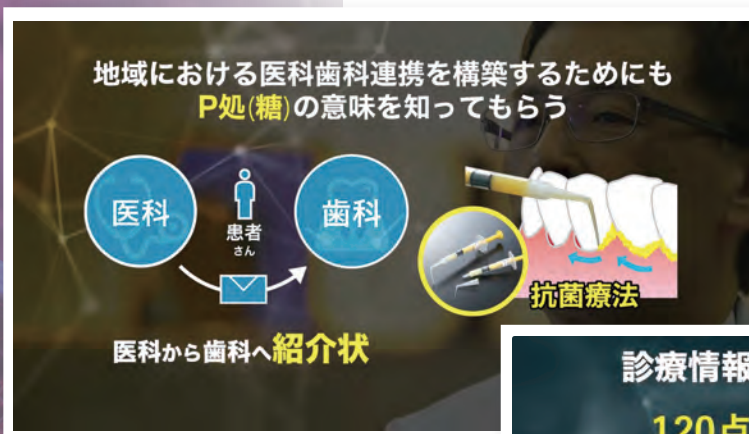


# 世界で加速する糖尿病領域の医科歯科連携 ～最先端をゆく日本の歯科医科連携モデル～

にしだわたる糖尿病内科 院長 西田 亙



診療情報連携共有料のポイント  
120点 (医科歯科双方に)  
3ヵ月に1回  
検査値・処方内容等について  
歯科から問い合わせること  
慢性疾患であればいつでもOK

## Movie Index (2018年講演)

※本動画は2016年にご講演の「炎症を通してつながる歯周病と糖尿病～口腔感染制御が医科と歯科を結ぶ～」(裏面参照)の「⑥医科から歯科へのエール」の第2弾として新たな情報を加えてご講演いただいた内容です。



①医科歯科連携の意義 (3分54秒)



②EuroPerio9で歯周病が糖尿病・炎症とつながる (5分17秒)



③糖尿病領域における日本の医科歯科連携の歴史 (12分17秒)



④歯科に期待！診療情報連携共有料による連携 (9分53秒)



ぜひご視聴いただき先生の日常診療にお役立てください。  
[http://showayakuhinkako.co.jp/medical/mov/dr\\_nishida/](http://showayakuhinkako.co.jp/medical/mov/dr_nishida/)



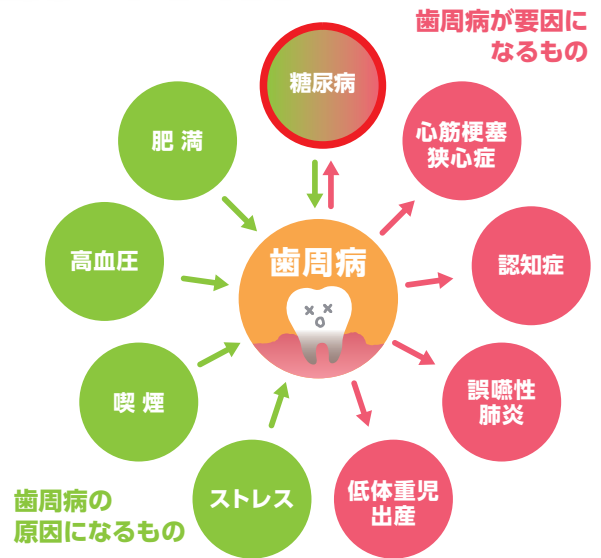
# 一人の患者さんを医科と歯科が支え合う

歯周病は、口の中の細菌によって歯ぐきに炎症が起こり、歯を支える骨が壊されていく病気ですが、口の中だけの病気ではありません。

歯周病は、様々な全身疾患と関係性があることが知られており、生活習慣病の一つとして位置づけられています。特に、歯周病と糖尿病は密接な相互関係があることから、歯周病は糖尿病の第6の合併症と捉えられています。

歯周病の予防や治療は、口全体の「健口」維持と身体全体の「健康」維持に繋げるためにとても大切なことです。

本コンテンツでは、一人の患者さんを医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、検査技師、栄養士などの様々な分野のプロフェッショナルが、口と全身を通じて支え合うことの重要性を解説していきます。

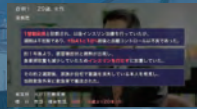


## 炎症を通してつながる歯周病と糖尿病 ～口腔感染制御が医科と歯科を結ぶ～

Movie Index (2016年講演)



① 医科と歯科の連携 (4分39秒)



② 口腔感染症の恐ろしさを痛感させられた糖尿病の2症例 (8分37秒)



③ 炎症で繋がる糖尿病と歯周病 (8分10秒)



④ 歯周病の恐ろしさを知ったキッカケ (9分31秒)



⑤ 私が歯周病を熱く語るワケ (4分36秒)



⑥ 医科から歯科へのエール (12分10秒)



⑦ 健やかなお口から、より健やかに  
より幸せに (3分53秒)

## PCをご利用の方

① GoogleやYahooで「昭和薬品化工 歯周病と糖尿病」で検索

昭和薬品化工 歯周病と糖尿病

検索

② 「炎症を通してつながる歯周病と糖尿病 | 昭和薬品化工」をクリック

炎症を通してつながる歯周病と糖尿病 | 昭和薬品化工株式会社

[www.showayakuhinkako.co.jp/medical/mov\\_dr\\_nishida/index.html](http://www.showayakuhinkako.co.jp/medical/mov_dr_nishida/index.html)

昭和薬品化工株式会社：炎症を通してつながる歯周病と糖尿病～口腔感染制御が医科と歯科を結ぶ～  
(にしだわたる糖尿病内科 院長 西田 互)

## スマホ、タブレットをご利用の方

右のQRコードより直接リンクに行くか、PCをご利用の方と同じ方法でご視聴ください。

